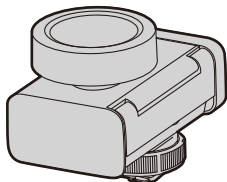


## 取扱説明書 詳細ガイド デジタルガンマイクロホン

---

品番 DMW-DMS1

# LUMIX



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。  
<https://panasonic.jp/support/dsc/>

パナソニック株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Corporation 2026

DVQP3480ZA  
F0226TN0

# 取扱説明書について

本書は、本機の機能や操作方法を詳しく説明している「取扱説明書 詳細ガイド」です。


- 本書で説明する製品の外観と仕様は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の画像やイラストは、機能や効果を説明するためのイメージです。

## ❖ 本書で使用する記号について


### お知らせの分類記号

本書では、お知らせを以下の記号を使って分類して、記載しています。


---

 : 機能を使う前にご確認いただきたいこと

---

 : 仕様に関するお知らせや補足事項

---

 : 関連する機能や情報

---

# 目次



「安全上のご注意」を必ずお読みください(5～7ページ)

取扱説明書について	2
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
はじめに	8
まずお読みください	9
付属品	11
各部の名前	12
準備	14
デジタルカメラに取り付ける	15
ウインドスクリーンを取り付ける	17
使い方	19
バックアップ録音機能を使用する	20
入力ゲインを設定する	21
録音レベルを設定する	22
風による雑音を低減する	24
周囲で発生する雑音を低減する	25
指向性を切り換える	26
周波数特性図と指向性パターン図	27

<b>資料</b>	<b>33</b>
使用上のお願い .....	34
仕様 .....	36
保証とアフターサービス(よくお読みください) .....	39

# 安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)








してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

## 警告

	<p><b>内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない</b> ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。</li><li>• 特にお子様にはご注意ください。</li></ul>
	<p><b>ウインドスクリーンを乳幼児の手の届くところに置かない</b> 誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。</li></ul>
 分解禁止	<p><b>分解、改造をしない</b> 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。</p>
 接触禁止	<p><b>雷が鳴ったら、触れない</b> 感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 本体には、金属部があります。</li></ul>
	<p><b>異常・故障時には直ちに使用を中止する</b> そのまま使うと火災・感電の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• デジタルカメラの電源を切り、販売店にご相談ください。</li></ul>

## 注意



**デジタルカメラに取り付けて、電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない**

本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど\*の原因になります。

- 長時間で使用の場合は、三脚などをお使いください。
- \* 血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



**次のような場所に放置しない**

火災や感電の原因になることがあります。

- 異常に温度が高くなる場所(特に真夏の車内やボンネットの上など)
- 油煙や湯気の当たるところ
- 湿気やほこりの多いところ



**デジタルカメラに取り付けた状態で、デジタルガンマイクロホンのみを持って持ち運びしない**

デジタルカメラが落下し、けがや故障の原因になることがあります。



**デジタルカメラのホットシューの奥まで差し込み、ロックリングはしっかりと締める**

デジタルガンマイクロホンが落下し、けがをする原因になることがあります。

- デジタルカメラの取扱説明書「安全上のご注意」も併せてお読みください。

# はじめに

本章では、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明しています。

- [まずお読みください: 9](#)
- [付属品: 11](#)
- [各部の名前: 12](#)

## まずお読みください

---

本機は、パナソニック製デジタルカメラ用のデジタルガンマイクロホンです。

デジタルカメラと組み合わせることで、高音質な音声記録、ハイレゾ音声記録、バックアップ録音(4chオーディオ記録)ができます。

さらに、フロート録音に対応したデジタルカメラと組み合わせることで、録音レベルの設定が不要で高音質な音声記録できる32 bitフロート録音も可能です。

### ❖ 対応機種について(2026年2月現在)

対応機種:

**DC-S1M2\*、DC-S1M2ES\*、DC-S1RM2\*、DC-S5M2\*、DC-S5M2X\***

\* デジタルカメラ本体のファームウェアを最新の状態にアップデートしてご使用ください。

DC-S5M2 / DC-S5M2Xはフロート録音またはバックアップ録音(4chオーディオ記録)には対応していません。

- ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/download/index4.html>

- 最新の対応機種に関しては、デジタルカメラの取扱説明書、カタログもしくはホームページなどをご覧ください。

## ❖ 本機の取り扱いについて

本機に強い振動や衝撃を与えないでください。誤動作や故障につながります。

砂やほこりは、本機の故障につながります。浜辺などで使うときは、砂やほこりが入らないようにしてください。

雨の日や浜辺などで使用するときには、本機をぬらさないようお気をつけください。

本機は防じん防滴構造ではありません。

万一、水滴などがかかったときは、乾いた布でふいてください。正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。(→ [保証とアフターサービス\(よくお読みください\): 39](#))

マイク収音部にごみやほこりが付着したときは取り除いてください。マイクの性能に影響を与える場合があります。

デジタルカメラ本体の取扱説明書も併せてお読みください。

- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

## 付属品

付属品をご確認ください。(品番は2026年2月現在)

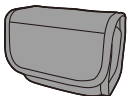
### ウインドスクリーン

DVZE1067Z



### ポーチ

DVPY1026Z



- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- ウインドスクリーンやポーチの繊維が本機に付着する場合があります。付着している場合は、ブローワーなどで繊維を取り除いてからご使用ください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。

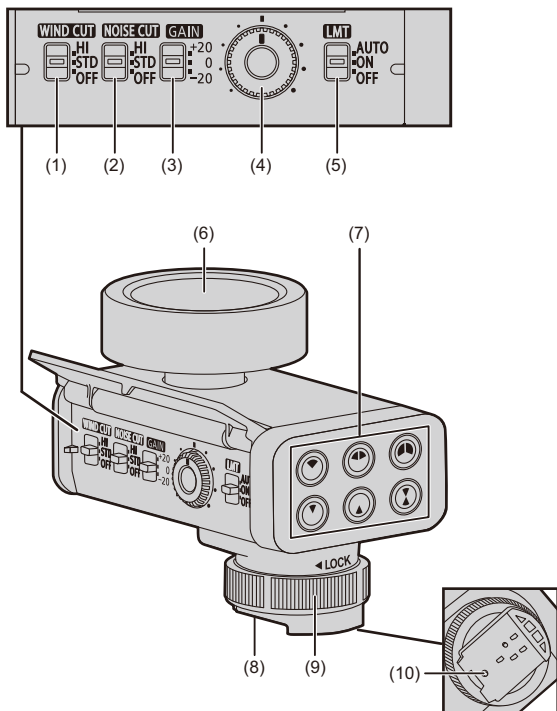
詳しくはサイトをご覧ください。

パナソニックの公式通販サイト

<https://panasonic.jp/store/>



## 各部の名前



- (1) WIND CUT スイッチ
- (2) NOISE CUT スイッチ
- (3) GAIN スイッチ
- (4) AUDIO LEVEL ダイアル
- (5) LMT スイッチ
- (6) マイク收音部
- (7) 指向性ボタン
  - : 前方単一指向性
  - : ステレオ
  - : ワイドステレオ
  - : 前方超指向性
  - : 後方超指向性
  - : 前後超指向性
- (8) ホットシュー取り付け部
- (9) ロックリング
- (10) ロックピン

# 準備

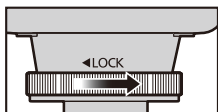
撮影前に、本章を読んで準備してください。

- デジタルカメラに取り付ける: 15
- ウィンドスクリーンを取り付ける: 17

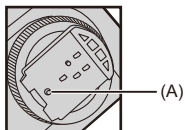
## デジタルカメラに取り付ける

デジタルカメラの電源が切れていることを確認してください。電源が入ったまま取り付け、取り外しをすると故障の原因となります。

### 1 ロックリングを[◀ LOCK]の反対方向に止まるまで回す



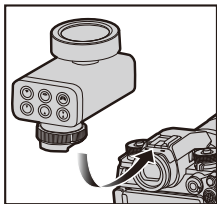
- ロックピンが収納されているか確認してください。  
ロックピンが出た状態で、デジタルカメラに取り付けしないでください。  
故障の原因になります。



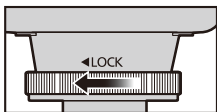
(A) ロックピン

- ロックリングに必要以上の力をかけないようにしてください。
- 端子部に指や金具などで触れないでください。

## 2 デジタルカメラのホットシューに、本機を奥まで確実に差し込む



## 3 ロックリングを[◀ LOCK]の方向に止まるまで回す

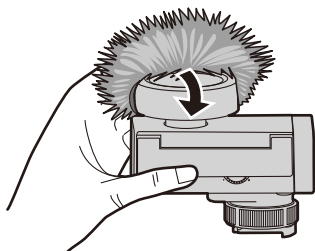


- 取り外しの際は、ロックリングを[◀ LOCK]の反対方向に回して、取り外します。

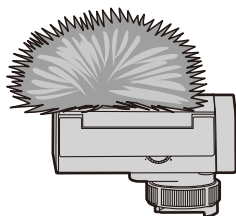
## ウィンドスクリーンを取り付ける

風音が気になる場合は、ウィンドスクリーンを取り付けてください。風雑音を効果的に低減することができます。

- 1 片側をマイク収音部の下部に引っ掛けて指で押さえ、反対側をマイク収音部にかぶせて取り付ける

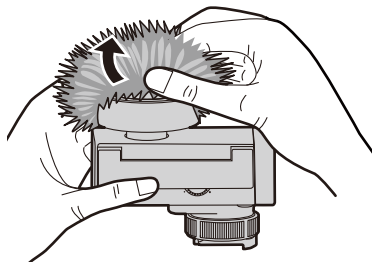


- 2 ウィンドスクリーンの取り付け部分マイク収音部の下部の全周に引っ掛かっていることを確認する



### ❖ ウィンドスクリーンを取り外す

マイク本体を固定した状態で、マイク収音部の側面からウィンドスクリーンをめくって取り外す



- ウィンドスクリーンの毛を引っ張って外さないでください。



- ウィンドスクリーンの取り扱いやお手入れについては、「使用上のお願い」をご覧ください。(→ [ウィンドスクリーンについて: 35](#)、[お手入れについて: 35](#))

# 使い方

本機をデジタルカメラに取り付けた状態で、デジタルカメラの電源を入れると、ご使用いただけます。

- 動画撮影中にスイッチ操作などをすると、その動作音が記録されたり音声が途切れたりする場合があります。
- バックアップ録音機能を使用する: 20
- 入力ゲインを設定する: 21
- 録音レベルを設定する: 22
- 風による雑音を低減する: 24
- 周囲で発生する雑音を低減する: 25
- 指向性を切り換える: 26

## バックアップ録音機能を使用する

4chオーディオ記録対応のデジタルカメラをお使いの場合、CH3とCH4にバックアップ録音ができます。

詳しくは、デジタルカメラの取扱説明書をお読みください。

### 4chオーディオ記録対応のデジタルカメラ(2026年2月現在)

DC-S1M2、DC-S1M2ES、DC-S1RM2

バックアップ録音は、以下の2つのモードをデジタルカメラ側のメニューで選択できます。

<b>DMS1バックアップ1</b>	雑音低減の設定や指向性モードにかかわらず、CH3 / CH4に以下の音声を記録します。 環境音を收音したい場合などにお勧めします。 <ul style="list-style-type: none"><li>• CH3: 全範囲の指向性で記録</li><li>• CH4: 全範囲の指向性で記録 (CH3より 20 dB小さい音で記録)</li></ul>
<b>DMS1バックアップ2</b>	CH1とCH2で記録された音声より 20 dB小さい音で記録します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• CH3: CH1と同じ指向性で記録 (20 dB小さい音で記録)</li><li>• CH4: CH2と同じ指向性で記録 (20 dB小さい音で記録)</li></ul>

CH1とCH2は、本機の指向性に合わせて記録します。(→ [指向性を切り換える: 26](#))

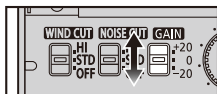


- バックアップ録音は、大音量で音声を入力した場合の音割れを防ぐものではありません。
- [DMS1バックアップ1]選択時、CH3 / CH4のWIND CUTやNOISE CUTの設定は無効になります。

## 入力ゲインを設定する

GAINスイッチで入力ゲインを変更できます。

### GAINスイッチで入力ゲインを設定する



<b>+20</b>	+20 dB
<b>0</b>	0 dB(初期設定、基準レベル)
<b>-20</b>	-20 dB



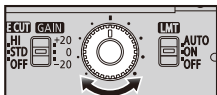
- 32 bit フロート録音中は、入力ゲインを変更できません。

## 録音レベルを設定する

音声の録音レベルを設定します。

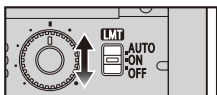
### AUDIO LEVELダイヤルを回し、録音レベル(音量)を設定する

- デジタルカメラに接続したヘッドホンやデジタルカメラのマイクレベル表示で確認しながら設定することをお勧めします。
- 左にいっぱいまで回すとミュート(消音)します。



### ❖ リミッターを設定する

LMTスイッチで設定してください。



LMTスイッチ	リミッター	録音レベルの設定	基準レベル
AUTO	有効	自動	74 dBSPL
ON	有効	手動	94 dBSPL
OFF	無効	手動	94 dBSPL

- リミッターを有効にすると、音量が一定の大きさを超えないようにし、音割れを抑えます。
- 録音レベルの設定を自動にすると、録音レベルや入力ゲインは固定になります。

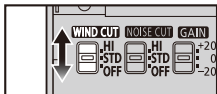


- デジタルカメラの内蔵マイクと[MIC]端子の録音レベルは設定できません。
- 32 bit フロート録音中は、ミュート(消音)以外の録音レベルの変更はできません。
- 32 bit フロート録音中は、リミッターの設定は無効になります。
- フロート形式とリニア形式を切り換えると、記録音量が変化する場合があります。

## 風による雑音を低減する

風がマイクに当たって発生する雑音を低減します。音質に違和感がある場合は[OFF]にしてください。

### WIND CUTスイッチを[HI]または[STD]に設定する

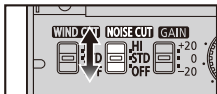


<b>HI</b>	低音を抑えて、風雑音を低減します。
<b>STD</b>	音質を保ちながら、風雑音を低減します。
<b>OFF</b>	機能を無効にします。

## 周囲で発生する雑音を低減する

騒がしい環境音や耳障りな雑音を低減します。音質に違和感がある場合は [OFF] にしてください。

### NOISE CUTスイッチを [HI] または [STD] に設定する



<b>HI</b>	抑圧効果を上げて、雑音を低減します。
<b>STD</b>	音質を保ちながら、雑音を低減します。
<b>OFF</b>	機能を無効にします。

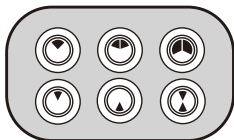
## 指向性を切り換える







### ●周波数特性図と指向性パターン図:27

記録したい音声や状況に合わせて指向性を切り換えることができます。

### 指向性ボタンを押す

- 設定した指向性ボタンが点灯します。



 前方単一指向性	環境音をある程度残しながら自然に録音します。 ●屋外での撮影や会話などにお勧めします。
 ステレオ	前方を強調し、臨場感を持たせて録音します。 ●ストリートライブやスタジオ演奏などにお勧めします。
 ワイドステレオ	空間の広さを強調し、臨場感を持たせて録音します。 ●発表会やスポーツシーンなどにお勧めします。
 前方超指向性	左右や後方の音を抑えつつ、前方の音をクリアに録音します。 ●騒音が大きい場所や残響の多い室内にお勧めします。
 後方超指向性	左右や前方の音を抑えつつ、後方の音をクリアに録音します。 ●ナレーションを入れながら撮影するときなどにお勧めします。
 前後超指向性	左右の音を抑えつつ、前方と後方の音をクリアに録音します。 ●撮影者と被写体が対話するようなインタビュー撮影などにお勧めします。



- 指向性ボタンの輝度はカメラのメニューで変更できます。詳しくはデジタルカメラの取扱説明書をご覧ください。

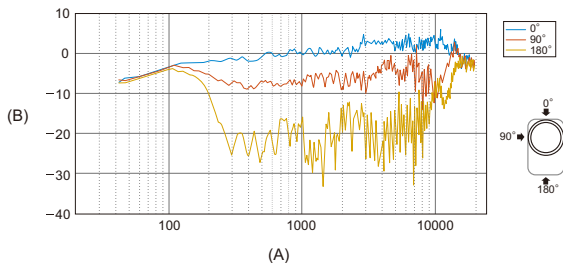
## 周波数特性図と指向性パターン図

### ❖ 周波数特性

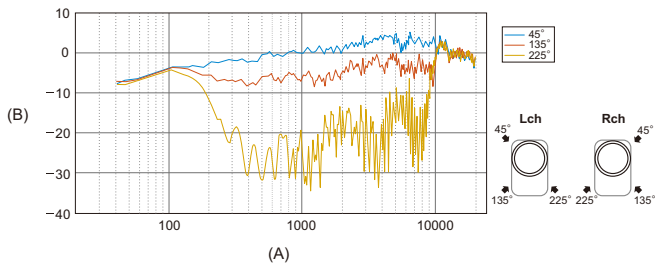
(A) 周波数 (Hz)

(B) レスポンス (dB)

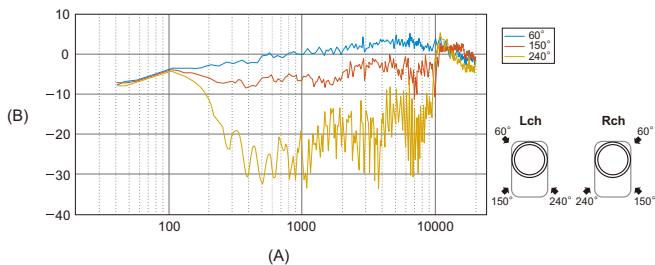
#### • 「前方単一指向性」設定時



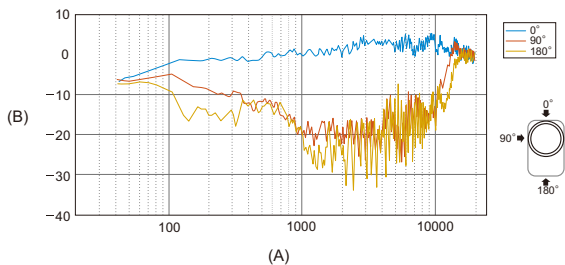
#### • 「ステレオ」設定時



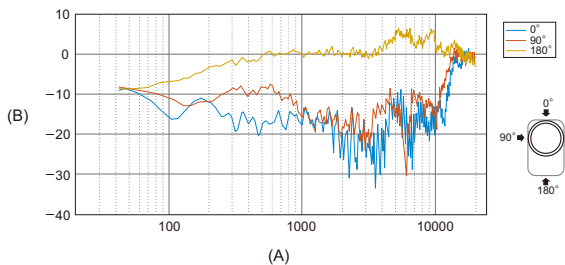
•「ワイドステレオ」設定時



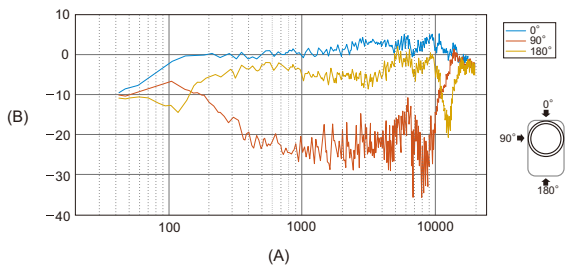
•「前方超指向性」設定時



• 「後方超指向性」設定時



• 「前後超指向性」設定時

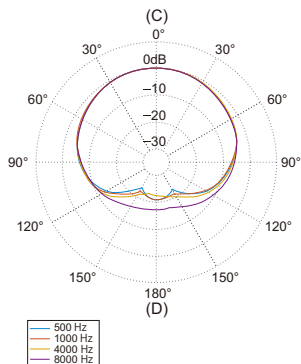


## ❖ 指向性パターン

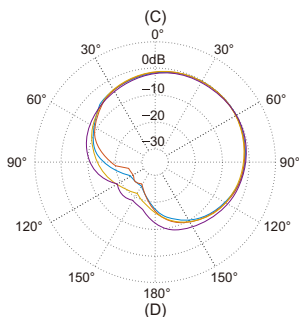
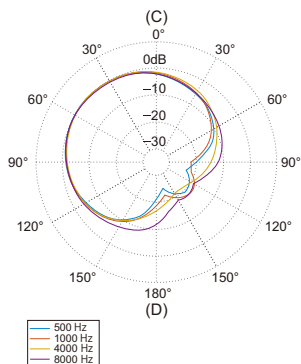
(C) 正面

(D) 背面

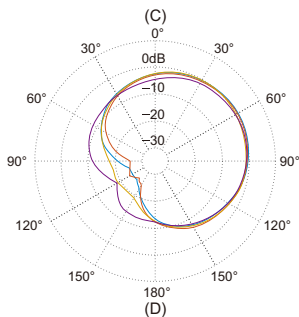
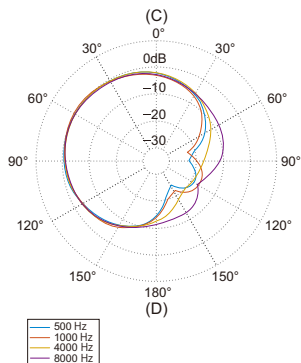
### • 「前方単一指向性」設定時



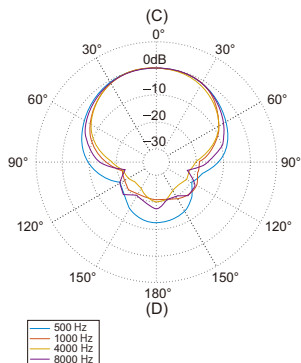
### • 「ステレオ」設定時



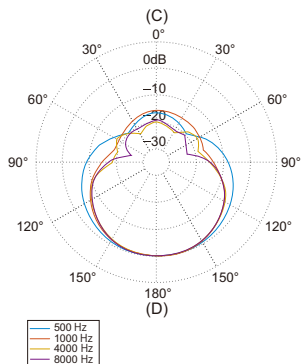
•「ワイドステレオ」設定時



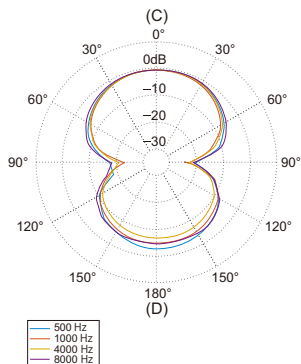
•「前方超指向性」設定時



• 「後方超指向性」設定時



• 「前後超指向性」設定時



# 資料

本章では、困ったときの対処方法や、参考となる仕様情報について説明しています。

- [使用上のお願い: 34](#)
- [仕様: 36](#)
- [保証とアフターサービス\(よくお読みください\): 39](#)

## 使用上のお願い

---

### ❖ 本機について

**電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わない**

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声に雑音が記録される場合があります。離れた場所で撮影してください。

**周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけない**

- かかると、外装ケースや印刷表示が変質するおそれがあります。

**ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。**

**本機をデジタルカメラに取り付けた状態で、本機だけを持って持ち運びしない**

- 以下のような場所で本機を使用または保管した場合、動作不良や故障の原因となりますので、避けてください。
  - 直射日光下や夏の海岸など
  - 高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
  - 砂やほこりの多い場所
  - 火気のある場所
  - 冷暖房機、加湿器の近く
  - 水にぬれやすい場所
  - 振動のある場所
  - 自動車の中
- 本機を落としたりぶつけたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- 動画撮影時、デジタルカメラやレンズの動作音、操作音などが記録されてしまうことがあります。特にレンズの動作音が気になる場合は、カメラの設定をマニュアルフォーカスでご使用ください。
- 端子部が汚れている場合は、接触不良の原因になりますので、乾いた柔らかい布でふいてから接続してください。
- デジタルカメラの電源が入った状態で本機の取り付け、取り外しをしないでください。
- デジタルカメラの電源を入れた直後に動画撮影を開始すると、冒頭に無音区間ができる場合があります。
- 事前に試し撮りをし、正常に録音されていることを確認してください。

## ❖ ウィンドスクリーンについて

- 取り付け、取り外し時はマイク本体をしっかり固定してください。  
マイク収音部の根元部分はフローティング構造のため不安定です。
- 防水対応ではありませんので、雨や海水浴でぬれないようにお気をつけください。
- 動画撮影中にウィンドスクリーンの毛に指などが触れると、接触音が記録されることがあります。
- ウィンドスクリーンの毛を引っ張らないでください。毛が抜ける原因になります。
- 長期間使用しないときはマイク本体から取り外して保管してください。
- レンズおよびカメラ本体にウィンドスクリーンの繊維が付着していないか確認してください。  
付着している場合は、ブロワーなどで繊維を取り除いてからご使用ください。

## ❖ お手入れについて

**お手入れの際は、乾いた柔らかい布でふいてください。**

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースや印刷表示が変質するおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ウィンドスクリーンがぬれたときは、マイク本体から外して陰干ししてください。
- ウィンドスクリーンが汚れた場合は、水で軽く洗って陰干ししてください。

## 仕様

---

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

### 入力

- **マイク形式**  
4chエレクトレットコンデンサー型マイクアレイ
- **指向性モード**  
前方単一指向性、前方超指向性、後方超指向性、前後超指向性、ステレオ(90°)、ワイドステレオ(120°)
- **WIND CUT**  
OFF、STD、HI
- **NOISE CUT**  
OFF、STD、HI
- **GAIN**  
-20 dB、0 dB、+20 dB(フロート時は0 dB固定)
- **AUDIO LEVEL**  
-18 dB～+12 dB(フロート時は0 dB固定)
- **LMT**  
OFF、ON、AUTO(フロート時は無効)

## オーディオ性能\*1

- 感度  
-12 dBFS (0 dB=1 V/Pa, 1 kHz)
- 周波数特性  
40 Hz～20 kHz
- 最大入力音圧レベル  
122 dB SPL 以上
- SN比  
77 dB 以上
- ダイナミックレンジ  
105 dB 以上

\*1 以下の条件時:

前方単一指向性モード、WIND CUT=STD、NOISE CUT=STD、48 kHz/32 bit フロート

## 出力

- サンプル周波数/ビット長/ch数  
リニア時  
48 kHz/24 bit/2ch、96 kHz/24 bit/2ch  
48 kHz/24 bit/4ch\*2  
フロート時  
48 kHz/32 bit/2ch、96 kHz/32 bit/2ch  
48 kHz/32 bit/4ch\*2

\*2 CH3/CH4をバックアップ録音した場合

## バックアップ録音

- バックアップ1  
CH3:全指向、CH4:全指向(-20 dB)
- バックアップ2  
CH3:CH1と同じ指向性(-20 dB)、CH4:CH2と同じ指向性(-20 dB)

## 外形寸法

約 幅45.0 mm×高さ 63.7 mm×奥行き 73.7 mm(突起部を除く)

## 質量

約100 g

## 推奨使用温度

-10℃～40℃

## 許容相対湿度

10 %RH～80 %RH

本製品(付属品を含む)に表示の記号は以下を示しています。

=== DC(直流)
------------

## 保証とアフターサービス(よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	( ) —
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

この取扱説明書をよくお読みのうえ、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

ご使用のデジタルカメラ本体と一緒に修理をご依頼ください。

製品名	デジタルガンマイクロホン
品番	DMW-DMS1
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

**保証期間:お買い上げ日から本体1年間**

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保証書承諾内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

**技術料:診断・修理・調整・点検などの費用**

**部品代:部品および補助材料代**

**出張料:技術者を派遣する費用**

※補修用性能部品の保有期間:8年

当社は、このデジタルガンマイクロホンの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

## ❖ ご相談窓口

### 使い方・お手入れなどのご相談

よくあるご質問(FAQ)やチャットなどでご確認、ご相談できます。

<https://panasonic.jp/support/>

固定電話をご利用の方はこちら



0120-878-638

スマートフォン等をご利用の方はこちら



0570-087-858(有料)

受付時間 9:00 ~ 18:00 月~土曜日(祝日・正月三が日を除く)

FAX フリーダイヤル



0120-878-236

### 修理に関するご相談

修理のご相談・お申し込みができます。

【オンライン24時間365日受付】

<https://panasonic.jp/support/repair.html>

フリーダイヤル



0120-878-554

受付時間 9:00 ~ 18:00 (一部地域を除く)

上記電話番号がご利用いただけない場合は

**03-6633-6700**

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はおお客様のご負担となります。(パケット定額サービス未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。
- 受付時間などの最新情報はWebサイトをご確認ください。

**【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】**

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。